

京都大学特定認定再生医療等委員会 議事概要
(平成30年度 第5回)

日 時 2019 (平成31) 年 3 月 11 日 (月) 15 : 00 ~ 15 : 08

場 所 医学部 G 棟 3 階 演習室

	氏 名	性別	法人の内外	属性	出欠	認定委員会設置者との利害関係
委員長	小杉 眞司	男	内	①	出	有
委員	渡邊 直樹	男	内	①	出	有
	田村 恵子	女	内	⑥	出	有
	山田 亮	男	内	⑦	欠	有
	黒田 知宏	男	内	⑦	出	有
	富樫 かおり	女	内	③	欠	有
	大森 孝一	男	内	③	欠	有
	柳田 素子	女	内	②	欠	有
	浅井 篤	男	外	⑥	出	無
	浅野 有紀	女	外	⑤	欠	無
	伏木 信次	男	外	①	出	無
	山崎 康仕	男	外	⑤	出	無
	北岡 千はる	女	外	⑧	欠	無
	豊田 久美子	女	外	⑧	出	無
	奈倉 道隆	男	外	⑧	出	無
	山口 育子	女	外	⑧	欠	無
	森 洋一	男	外	③	出	無
	太宰 牧子	女	外	⑧	出	無
	水野 義之	男	外	⑧	出	無
	安田 京子	女	外	⑧	出	無
	川本 篤彦	男	外	②	出	無
笠井 泰成	男	外	④	出	無	
松山 知弘	男	外	②	出	無	
佐藤 元信	男	外	④	出	無	

属性(号)	①	分子生物学、細胞生物学、遺伝学、臨床薬理学又は病理学の専門家
	②	再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する者
	③	臨床医(現に診療に従事している医師又は歯科医師をいう。以下同じ。)
	④	細胞培養加工に関する識見を有する者
	⑤	法律に関する専門家
	⑥	生命倫理に関する識見を有する者
	⑦	生物統計その他の臨床研究に関する識見を有する者
	⑧	第一号から前号までに挙げる者以外の一般の立場の者

陪席

倫理支援部	特定講師	竹之内沙弥香
倫理支援部	特定助教	渡邊卓也
倫理支援部	特定職員	6名
臨床研究総合センター	特定准教授	笠井宏委
経営管理課倫理支援・利益相反掛	掛長(兼)専門員	新井伸一

再生医療等について十分な科学的知見及び医療上の識見を有する川本篤彦委員、および細胞培養加工に関する識見を有する佐藤元信委員は、テレビ会議システムにて出席した。

委員長から、委員 24 名の内 17 名の委員が出席したこと、男女各 2 名以上の出席、再生医療等・細胞培養加工・法律・生命倫理・生物統計に関する知識を有する者及び臨床医・一般の立場の者、技術的な観点から検討する技術専門委員の出席により「京都大学特定認定再生医療等委員会規定」第 7 条の開催要件を満たしていることにより委員会が成立したとの報告が行われた。

議題

1. 利益相反の開示
2. 再生医療等提供計画 (S0007 京都大学) の軽微な変更追加申請の審査
3. 再生医療等提供計画 (S0006 京都大学) の定期報告

議事

1. 利益相反の開示

委員長より、今回会議にかかる審議案件に関し、利益相反の有無についての確認が行われた。委員と審査案件に関し、利益相反はないことが確認された。

2. 再生医療等提供計画 S0007 の軽微な変更追加申請の審査

S0007 血小板減少症に対する iPS 細胞由来血小板の自己輸血に関する臨床研究 (受理日: 2019 年 2 月 22 日)

委員長より、今回の変更内容が説明された。技術専門委員 3 名の意見を確認し、委員からの意見・質問等なかったため、本件は全員一致で適切であると認められた。

審議結果：適切と認める

3. 再生医療等提供計画の定期報告

S0006 着床不全を原因とする難治性不妊症患者に対する自己末梢血リンパ球を用いた免疫療法（定期報告 受理日：2019年1月22日）

委員長より、定期報告の内容が説明され、技術専門委員の意見を確認した。現在提出されている報告書は、その意見に基づいて修正されたものである。委員からは意見・質問等なかったため、全員一致で本件は適切であると認められた。

審議結果：適切と認める

以上